

# 課題図書を紹介

夏休みには読書感想文にチャレンジしてみよう！

「課題図書感想文」「自由図書感想文」どちらでもかまいません。

読書感想文応募用紙は図書室にあります。



## 「牧野富太郎」

日本全国の野山を歩いて集めた標本は40万点。調べて分類し、名前をつけた植物が1500種類。「日本の植物学の父」とよばれる牧野富太郎の94年にわたる人生を描いています。



## 「with you(ウィズ・ユー)」

中学三年生の悠人は、高校受験を控えている。優秀な兄・直人や、家族を置いて家を出ていった父親、悠人でなく直人に大きな期待をかける母親、といった家族のなかで、自分の存在意義を見出せない悠人は、日課にしていたランニングの途中、公園のブランコに座る少女・朱音と出会う。どこか影のある表情の朱音に、次第に惹かれていく悠人。朱音が、病気の母親の介護や幼い妹の世話、家事をひとりで背負う“ヤングケアラー”であることを知った悠人は、彼女の力になりたいと考えるようになるが…



「誰かを大切に思うこと、社会へ目をむける機会」を描いています。中学生にぜひ読んでほしい1冊です。

## 「アーニャは、きっと来る」

第二次世界大戦中のフランス。スペインとの国境近い静かな山間部の村が舞台。羊飼いの少年ジョーは、ある日山の中で見知らぬ人とめぐりあい、ナチスの迫害をのがれたユダヤ人とかかわりを持つことになります。スペインに逃げようとしている12人の子どもたちを村人が心をつつにして、ドイツ兵から守ろうとします。家族の絆、村人たちの結束、決して悪人ではなかったドイツ軍の伍長、登場人物の描かれ方に、とても人間性を感じます。心に残る、余韻の残る、考えさせられる感動の1冊です。



応募締め切りは9月10日(金)

(図書室内に応募BOXがあります。)